

れきはく NEWS

vol.43
2018.JUN

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 企画展「古墳は語る 古代出雲誕生」
- 4 展覧会通信
- 5 学芸員通信
- 6 れきはく通信
- 7 古代文化センター通信
- 8 れきはくごよみ

企画展

古墳は語る

古代出雲誕生

平成30年8月3日【金】▶9月24日【月】

今城塚古墳埴輪祭祀場（早川和子 画）
高槻市教育委員会 蔵



金製垂飾付耳飾
立山山8号墳出土 八女市蔵



獅頭環頭大刀
御崎山古墳出土
島根県教育委員会蔵



埴輪鶏
今城塚古墳出土
高槻市教育委員会蔵



埴輪巫女
今城塚古墳出土
高槻市教育委員会蔵



出雲刑子持壹
山代二子塚古墳出土
島根大学法文学部考古学研究室蔵



埴輪甲冑
今城塚古墳出土
高槻市教育委員会蔵



埴輪牛
今城塚古墳出土
高槻市教育委員会蔵

史跡 山代二子塚古墳
松江市山代町



企画展
古墳は語る

古代出雲誕生

会期 平成30年8月3日(金)～9月24日(月) [52日間]

◎開館時間／9:00～18:00

※8月3日(金)は企画展開会式のため、当展覧会会場のみ10:00からの開場となります。

◎会期中の休館日／8月21日(火)

会場 島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

古墳時代後期(6世紀)は、古代国家成立の礎となった時代でした。6世紀はじめ、継体天皇は政治組織や制度改革を推し進め、列島各地の豪族とつながりながら、新たな秩序の下に列島内をまとめ上げました。続く欽明天皇の時代には、後の古代国家へとつながる政治システムが確立したと考えられています。この頃出雲の地では、古墳時代最大の古墳が築かれ、ヤマトや列島各地の豪族たちとの盛んな交流によって、現在も続く「出雲」という地域的まとまりが誕生しました。本展覧会では、こうした新たな政治秩序が形成される中で活躍した、ヤマトの王権と出雲をはじめとする各地の豪族の姿を、馬具や大刀などの華麗な副葬品や、関連する文献資料からひもときます。



【重要文化財】上塩冶築山古墳出土品 [出雲市蔵]



王者の装い
[滋賀県立安土城考古博物館蔵]

1 ヤマト・九州・出雲の象徴

本展覧会では、継体天皇の陵墓ともいわれる今城塚古墳出土の武人埴輪、九州の首長墓に並べられた武装石人や石馬、出雲の首長墓に樹立された出雲型子持壺など、各地の豪族を特徴づける出土品が一堂に会します。



今城塚古墳出土 武人埴輪
[高槻市教育委員会蔵]



向山1号墳出土 子持壺
[松江市教育委員会蔵]

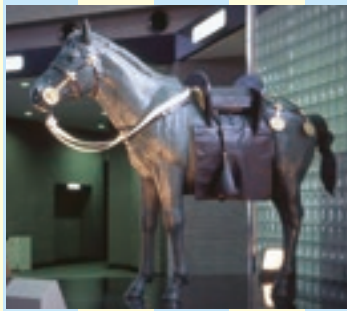


【重要文化財】
鶴見山古墳出土 武装石人 [八女市蔵]

2

豪華・華麗な副葬品を見る!

6世紀の古墳には、生前の豪族たちの姿や権力の大きさを彷彿とさせる品々が副葬されました。金銀で装飾された大刀や馬具、冠や首飾りなど、きらびやかな出土品は必見です。



古代の飾り馬 [吹田市教育委員会蔵]



【重要文化財】
かわらけ谷横穴墓出土 装飾大刀
[島根県教育委員会蔵]

下石橋愛宕塚古墳出土 馬具
[栃木県立博物館蔵]

3

古墳を彩る造形

古墳に樹立された埴輪には、人・動物・家・武器など様々なものがあります。時に凛々しく、時にお茶目。

デフォルメと写実が絶妙にブレンドされた、埴輪の造形を楽しんでください。



今城塚古墳出土 埴輪力士
[高槻市教育委員会蔵]



今城塚古墳出土 埴輪大刀
[高槻市教育委員会蔵]



立山山8号墳出土 埴輪猪
[八女市蔵]



【重要文化財】平所遺跡出土 埴輪馬
[島根県教育委員会蔵]

こちらもおすすめ!

企画展関連催事

関連講座

第1回

継体・欽明朝の 王権と出雲

- 日時 / 8月4日(土)
13:30~15:00
- 講師 / 仁藤 敦史氏
国立歴史民俗博物館教授

第2回

ミヤケと 地域間ネットワーク

- 日時 / 8月26日(日)
13:30~15:00
- 講師 / 坂江 渉氏
ひょうご歴史研究室研究コーディネーター

第3回

地域開発と 後期古墳

- 日時 / 9月9日(日)
13:30~15:00
- 講師 / 菱田 哲郎氏
京都府立大学教授

各講座
とも

定員100名 / 参加無料

- 会場
古代出雲歴史博物館 講義室

関連講座に参加をご希望の方は、
下記の方法でお申し込みください。

- お申し込み方法
電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかで事前にお申し込みください。
- お申し込み先
古代出雲歴史博物館
TEL.0853-53-8600
FAX.0853-53-5350
<https://www.izm.ed.jp>

ギャラリートーク

- 日時 / 8月 4日(土)
8月26日(日)
9月 9日(日)
各回10:00~11:00
- 会場 / 古代出雲歴史博物館
特別展示室

古代出雲歴史博物館学芸員がガイドします。

参加には年間パスポートまたは
企画展観覧券が必要です。

企 画 展

神々が集う — 神在月と 島根の神像彫刻 —

◎開催期間／平成30年10月26日(金)～11月26日(月)《32日間》〈会期中無休〉

◎会場／島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

◎主催／島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター

旧暦10月、広く一般には神無月かんなづきと呼ばれるこの月を、出雲では神在月かみありづきと呼びます。このとき全国の神々が出雲に集うとされ、出雲大社をはじめとする様々な神社で神々を迎える神在祭が行われます。

本展は、この時期にちなんだ2部構成の内容を予定しています。まず第1部では、神在月とはどのようなものか、当館所蔵の資料によって分かりやすくご紹介します。そして第2部では、島根県内に伝わる数々の神像彫刻をご紹介します。

神像彫刻とは、神々の姿を表現した彫刻のことです。中国や日本の貴族の姿を参考にした例や、仏教の信仰と混ざったために僧侶の姿をした例など、その表現はさまざまです。仏像ほどしっかりとした決まりがないので個性的な姿をした像が多く、これが神像彫刻の大きな魅力の1つです。また、なぜか複数の神々が集ったように群像の形で伝わる例が多いのも特徴です。展示では、このような神像彫刻の魅力や謎もご紹介したいと思っています。

秋の参拝や観光の機会に、是非、展覧会へもお越しください。



▲神像群 (成相寺〔松江市〕所蔵)



発掘現場ではガーゼを貼り付けて固めました



リフレッシュの前(左3本)と後(右3本)

青銅器にもリフレッシュ休暇が必要!?

古代出雲歴史博物館 専門学芸員 澤田 正明

1984年・1985年に荒神谷遺跡から出土した銅剣358本、銅矛16本、銅鐸6個は、1986年から1994年にかけて保存修理が施され、現在は当館の展示室に並んでいます。発見された時の銅剣は、そのまま持ち上げることはできないほど脆くなっていて、ガーゼを銅剣に貼り付けて固めてから作業が行われる室内へ運び込まれました。当時の保存修理の方針は、発見状態の緊急性から、持ち帰った青銅器の形をのこし、修理後に考古学的な調査・研究をするための応急的な処置でした。

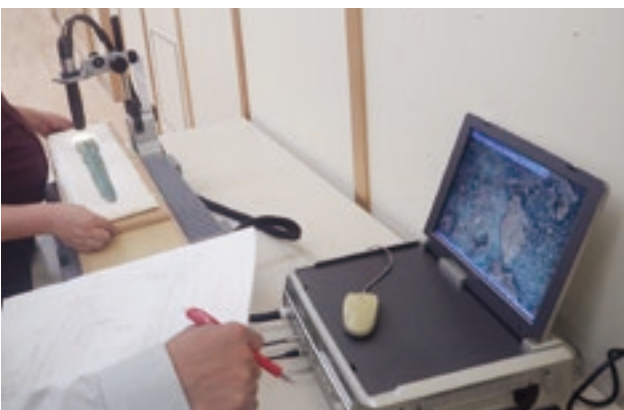
当初の修理から30年を経て現在、定期的な点検作業で気がついた接着部分の緩みなど、保管や取り扱いに不安がある状態を改善するため、2010年から2020年までの計画で保存修理を行っています。

今回の保存修理では、より長く保存することを目的として、修理作業によって見えにくくなる情報を、修理の前に調査し記録をしています。ただし、この

ような情報は、取り除くことができる材料を使って表面を保護するので、消えて無くなるわけではありません。また、破片を固定している裏打ちの和紙を、強度は変わらず薄いものに取り替えます。その時に、破片の位置や角度を検討して、できる範囲で細かく修正しています。

この修理にあたっては、当時の発掘担当者や保存修理担当者、青銅器研究者、そして現在の担当者が意見を交換する修理検討会を毎年2回開催しています。この場で諸先輩方の30年前の生の声を聞いていると、考古学や保存科学の研究の積み重ねと、調査や修理に使う道具や材料の進歩を感じます。

毎年、荒神谷遺跡出土の青銅器たちは交代で「リフレッシュ休暇」を取って、元気な姿になって展示室に帰ってきます。全員が揃うまで、もうしばらくお待ちください。



デジタル顕微鏡で磨いた痕跡を記録します



検討会でX線透過画像を見ながら破片の位置を検討します

6月1日、 歴博アテンダントは衣替え

歴博のアテンダントの制服は、6月1日になると衣替えをします。制服には、夏服と冬服があり、他の博物館とはちょっと違ったデザインです。

*テーマは『古代』

白い上衣は、貫頭衣^{かんとうい}をイメージし、帯の結び目は、刀を挿しているように見せているのです。ちなみに帯の刺繍の柄は、土器の柄をイメージしています。スカートの色は、もちろん、銅鐸や銅剣の青銅色です。(余談ですが、この色は、色見本にはないので、別注で染めてもらっています。)

冬の青銅色の制服は、『落ち着いていて、きれいな色ね。』とか、『素敵な刺繍の帯ね。』とお客様からは声をかけていただいています。

夏服は、上衣が白になり、更に爽やかな初夏のイメージになります。まるで、庭園の桂並木の新緑の中に溶け込みそうな雰囲気です。

企画展開催中は、赤い制服も登場します。こちらは、たたら製鉄の色を表しています。

こだわりの制服ととびきりの笑顔で皆さまをお迎えいたします。



お待たせしました！
待望のソフトクリームが
新登場!!



チョコかけソフト〈500円〉

こんにちは！ミュージアムカフェmaru caféです。この度、maru caféの新メニューに、ご要望の多かったソフトクリームが登場しました。

素材を生かしたバニラ風味の濃厚な味わいのソフトクリームです。

ソフトの下には、フルーツグラノーラがたっぷり。ザクザクとした食感で食べごたえがあります。

さらにソースやトッピングを変えて、ひと工夫！季節感をだしたり、イベントや博物館の展示にあわせたり、maru caféオリジナルソフトに仕上げています。

ソフトクリームだけでなく、ケーキや定番の出雲ぜんざいなどのデザートメニューも豊富です。

ぜひ景色のよいカフェで、ゆっくり過ごされてみてはいかがでしょうか。

SHOP INFORMATION

新作DVD発売！

まんが出雲神話 ヤマタノオロチ



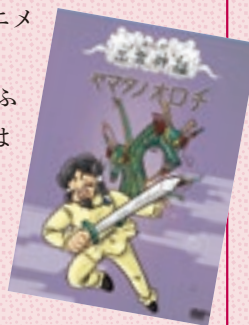
新商品のDVD「まんが出雲神話 ヤマタノオロチ」を紹介します。

『古事記』などに登場する出雲を舞台とした神話を、障がい福祉サービス事業所の「ワークセンター

フロンティア」の皆様が、自らのタッチで描いた原画をもとに子どもから大人まで幅広く楽しめるように創られたアニメーション作品です。

ぜひこのDVDで、神々のふるさと出雲を味わってみてはいかがでしょうか？

まんが出雲神話 ヤマタノオロチ
〈収録時間／16分〉 **800円**



◎島根県古代文化センターの調査研究・情報発信事業について

今年度開始のテーマ研究

山陰地域における 古代交通の研究

(研究期間:平成30~32年度)

古代文化センターでは古代出雲歴史博物館の将来的な企画展示内容となるよう、新しいテーマ研究を毎年2~3本開始しています。今回は、今年度開始したうちの一つである「山陰地域における古代交通の研究」について紹介します。

古代の交通施設、たとえば道路や橋梁、駅や^{せき}剗(=関所)などはどのようなものだったのでしょうか。また、これらの施設について、かつては貧弱なものであるとされてきましたが、全国で道路遺跡が続々と発見され、現在では後の中世・近世のものよりも大規模かつ計画的に整備されていたことが解ってきました。そして近年、山陰地域についても、基幹的な道路である山陰道の遺跡が島根・鳥取両県で発掘され、そのルートや道路の様子が明らかになりつつあります(写真)。

天平5年(733)年に編纂された『出雲国風土記』は、同時に8世紀の地域社会における交通施設を詳



松江市で発見された古代山陰道の一部(右側の低くなっている部分が道路の一部)

細に描き出したほぼ唯一の史料であり、出雲地方で発見された山陰道もその記載どおりに発見されています。『出雲国風土記』の情報、遺跡の発掘調査成果、歴史地理学による道路の復元研究、さらには平安時代の都や他地域との交流史料を併せて考えることで、出雲国内における交通ネットワークや、都と地方、あるいは他地域との交通を明らかにすることがこのテーマ研究の目的です。

■主担当者:専門研究員 平石 充

島根県古代文化センター刊行物のご案内

しまねの古代文化 第25号

平成29年度に実施した、県内外での講座・シンポジウムのうち、「日本海交流と古代出雲」(基調講演:平川南氏、パネラー:亀田修一氏・田中史生氏・池淵俊一氏)、益田市を中心とした石見の中世についての巡回講座「石見国衆連合と大名たちの室町戦国時代史」(講師:岸田裕之氏)、「益田家文書研究の可能性」(講師:久留島典子氏)、また、隠岐巡回講座から「宇屋だんじり舞のルーツと流人黒崎又五郎について」(講師:笹原亮二氏・錦織稔之氏)の模様を収録しています(2018年3月刊行。B6版165頁。定価1,000円)。島根県文化財愛護協会にて販売しています(連絡先0852-22-6612)。



夏はれきはくで遊ぼう!

7.29

日

〈れきはく夏の体験楽〉

れきはく夏まつり

時間 10:00~15:00

場所 古代出雲歴史博物館
風土記の庭・体験工房

〈夏休み子ども歴史教室〉

*勾玉をつくろう!

随時受付《100個限定》

ロウ石を削って、オリジナル勾玉を作ろう!

参加費 400円

〈藍染体験〉

*藍染でオリジナルハンカチをつくろう!

随時受付《100枚限定》

参加費 400円

夏休みのれきはくは
わくわくがいっぱい!



※内容は変更になる場合があります。一部有料。

〈出雲農林高校・古代出雲歴史博物館 連携事業〉

*出雲農林高校がやってくる!

ヤギやモルモットとのふれあいが楽しめる「移動動物園」、農産物の加工品を販売する出農ショップがオープン。出農太鼓のパフォーマンスもあるよ!

*出張博物館

県内外の博物館による体験メニュー!

●参加館/広島県立歴史民俗資料館・出雲弥生の森博物館
石見銀山世界遺産センター・荒神谷博物館

*キッズわくわく体験コーナー

小さなお子さまも冠サンバイザーづくりなどの工作を楽しめます!



8.18

土

企画展「古墳は語る 古代出雲誕生」関連イベント

〈夏休み子ども歴史教室〉

小学生対象 ※保護者同伴可

ハニワを学ぼう!

本物のハニワを観察して、
自分だけのオリジナルハニワストラップを作ろう!

時間 [第一回] 10:00~12:00

[第二回] 13:00~15:00

会場 古代出雲歴史博物館 体験工房

申込先 電話またはホームページのイベント参加フォームからお申し込みください。

【参加費】
400円

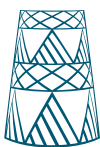
【定員】
各回 30名



【重要文化財】埴輪馬
(平所遺跡出土/島根県教育委員会蔵)

※写真はイメージです。

発行/平成30年6月



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
開館時間/9:00~18:00(11月~2月は9:00~17:00)
休館日/第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター
雲太くん



マスコットキャラクター
出雲ちゃん